

日 時：2017 年 5 月 19 日（金）18 時～20 時

場 所：(株)国際文献社本社（山吹町会議室）

出席者：久田健一郎，高橋 修，青木秀則，伊藤 孝，上村剛史，小森次郎，澤口 隆，
清水政義，富田晃彦（スカイプ参加），中林俊明（計 10 名）

議 題

1 . 学会パンフレットについて

広報委員会委員長代理の小森常務委員および常務委員長より，新たに作成予定の学会パンフレットについて，再提案があった。年号表記の統一，一部写真の見直し等を行った上で最終稿とすることとした。このパンフレットを用い，学会活動の様子を広く広報していくことが確認された。

2 . 『地学教育』の別刷りの扱い・印刷費超過料金について

富田編集委員会委員長より，「地学教育」誌の別刷りの扱い，および超過料金について提案がなされた。これまで学会のウェブページ等に明記されていなかった別刷りの代金を公開することが確認された。また，当面は，原則として「地学教育」掲載論文については 50 部以上の別刷りの購入をお願いすることが確認された。「地学教育」の規定ページ数を超えた場合の印刷費超過料金については，まず現状の競合誌と比較して「地学教育」が非常に安価であるということが示された。この超過料金も公開し透明性を高くしていくこととした。

3 . Web 投票システムについて

澤口常務委員より，Web 投票システムについての説明があった。検討の結果，現状，封書等で行っている従来の方法と比較し，金額的にも労力としても大幅な負担軽減になることが確認された。これについては，2017 年度中の実施を目処に，体制作り，会員へ周知徹底をはかり，会員の権利を守りつつ，一方で実施側の負担軽減を行っていくこととした。なお，2016 年度に実施する選挙に関しては，従来の方法で行う。

4 . 平成 29 年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第 71 回全国大会兵庫大会の準備状況について

高橋副会長より，兵庫大会の準備状況について説明があり，すでに申請済みの協賛等は得られる見込みである等，確認された。また「地学教育」第 70 巻 1 号での大会二次案内掲載を目処に各種準備を進めて頂くこととした。

5 . 海外巡検の準備状況について

久田地学教育学会会長により，2017 年末に計画している海外巡検（タイ国）の準備状況が説明された。タイ国側カウンターパートとの打ち合わせは良好に進み，日程，代金等，すでに会員へ広報できる状況にあることが確認された。また，巡検の運営

体制と広報を強化していく具体例などが議論された。

- 6 . 2022 GeoSciEd Conference (IGE0) 開催誘致について
久田地学教育学会会長より，2022 GeoSciEd Conference (IGE0) 開催誘致に関し，最近の動向についてご説明があった。結果，財政的にも，また実施体制としても日本での開催誘致を行える状況であることが確認された。
- 7 . 「学会賞・学術奨励賞の規則」「日本地学教育学会学術奨励賞審査委員会内規」の変更について
上栗常務委員の代理で高橋副会長と常務委員長より，同規則等の修正について提案があった。結果，すでに審査委員会が立ち上がっている今回の審査に関しては，これまでの規則をもとに進めていくこと，来年度には修正した規則を元に臨めるよう次回以降の常務委員会で議論し整えていくこととした。
- 8 . 会勢・財務状況について
中林常務委員より，会勢・財務状況について状況説明があり，確認した。

報告・話題提供

- 1 . 地学教育フォーラム「ジオパーク地学教育 2017」の実施報告
久田地学教育学会会長より，2017年4月29日～30日に実施された地学教育フォーラム「ジオパーク地学教育 2017」についての説明があった。講演の部は約40名，筑波山のバスツアーは約30名の参加者があった。内容の詳細については「地学教育」誌上等で報告予定である。なお，この勢いを2018年の8月末に予定されているつくば市での「平成30年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第72回全国大会」につなげていくよう，確認された。
- 2 . 寄贈交換図書
 - ・海洋白書 2017，笹川平和財団海洋政策研究所
 - ・新地理，65-1，日本地理教育学会
 - ・下中記念財団創立55周年記念表彰事業論文集，下中記念財団
 - ・地域研究，57，立正地理学会
 - ・地学雑誌，126-2，東京地学協会
 - ・GSJ地質ニュース，6-3，4，産業技術総合研究所地質調査総合センター
 - ・地理情報システム学会25周年記念誌，地理情報システム学会
 - ・理科教育学研究，57-3，日本理科教育学会
 - ・理科の教育，66-4，66-5，日本理科教育学会
- 3 . 常務委員会の会場の変更について
次回以降の常務委員会の会場は，(株)国際文献社本社の山吹町会議室ではなく，高田馬場会議室となる予定である。